

# Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

## 2022年3月期 連結決算説明資料

### 株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

## ～目次～

- ◆ (P.3～P.7) 2022年3月期 連結決算概要
- ◆ (P.8～P.9) 2023年3月期 連結業績予想
- ◆ (P.10～P.12) TOPICS
- ◆ (P.13～P.18) 中期経営計画2023の進捗状況

## ◆ 2022年3月期 連結決算概要

## ■ 通期の経営成績

### ★ 2022年3月期は売上高・経常利益、共に過去最高を更新

⇒ **売上高**は、[中期経営計画2023]達成に向けた業容拡大に加え、コロナ影響による業績悪化が最も深刻であった前年同期と比較し回復基調となったこと等により増収（279.5億円/前年同期比+14.4%）

⇒ **経常利益**は、業容拡大による収益源の増加や、前年度から取り組んでいる、経費削減・業務効率上昇による筋肉質な経営体制構築の効果等により増収（16.7億円/前年同期比+29.7%）

連結損益計算書概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比	
	通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>24,436</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,953</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,516</b>	<b>14.4%</b>
売上総利益	5,062	20.7%	5,808	20.8%	745	14.7%
販売費および一般管理費	4,039	16.5%	4,332	15.5%	293	7.3%
<b>営業利益</b>	<b>1,022</b>	<b>4.2%</b>	<b>1,475</b>	<b>5.3%</b>	<b>452</b>	<b>44.2%</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,287</b>	<b>5.3%</b>	<b>1,670</b>	<b>6.0%</b>	<b>382</b>	<b>29.7%</b>
特別利益	3	0.0%	51	0.2%	47	1253.8%
特別損失	240	1.0%	1	0.0%	△238	△99.2%
<b>親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益</b>	<b>666</b>	<b>2.7%</b>	<b>1,120</b>	<b>4.0%</b>	<b>454</b>	<b>68.1%</b>

- 運送事業 ⇒ 事務所移転作業の増加や、GIGAスクール構想によるPCキッティング業務の受託等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 既存事業の物量回復や、前年期中より稼働したe-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ [関電資材調達3PL事業開始](#)等により、増収増益  
TOPICS (P.11参照)
- ウェルフェア事業 ⇒ 福祉用具の在庫圧縮、拠点統廃合による人件費減少等により、増収増益
- その他 ⇒ 駐車場事業の大口得意先との契約終了等により、減収減益

セグメント別決算概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比	
	通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>24,436</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,953</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,516</b>	<b>14.4%</b>
運送事業	16,277	66.6%	17,234	61.7%	956	5.9%
倉庫事業	6,347	26.0%	7,404	26.5%	1,057	16.7%
商品販売事業	571	2.3%	2,169	7.6%	1,597	279.5%
ウェルフェア事業	891	3.6%	938	3.4%	46	5.2%
その他(※)	348	1.4%	206	0.7%	△141	△40.7%
	通期	利益率	通期	利益率	増減額	増減率
<b>セグメント利益</b>	<b>2,716</b>	<b>11.1%</b>	<b>3,128</b>	<b>11.2%</b>	<b>411</b>	<b>15.2%</b>
運送事業	1,679	10.3%	1,797	10.4%	118	7.0%
倉庫事業	876	13.8%	1,118	15.1%	242	27.6%
商品販売事業	10	1.8%	63	2.9%	53	526.3%
ウェルフェア事業	129	14.5%	138	14.8%	9	7.1%
その他(※)	21	6.1%	9	4.8%	△11	△53.4%

※ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場事業等を含んでおります。

- オフィスサービス事業 ⇒ 事務所移転需要増加等により、増収
- 3PL事業 ⇒ e-コマース向け大型物流センターの本格稼働や、[関電資材調達3PL事業開始](#)等により、増収
- ビルデリバリー事業 ⇒ コロナ禍の人流抑制で、テナント企業のオフィス出勤率が低下し、取次物量等が減少したこと等により、減収
- 基幹事業 ⇒ 前年同期のコロナ影響から回復し、増収
- ITサービス事業 ⇒ GIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託等により、増収
- M & A ⇒ 既存子会社の、取引物量増加等により、増収

TOPICS (P.11参照)

また、イシカワコーポレーションの決算期変更による変則決算業績を取込

事業領域別売上高 (百万円)		2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比	
		通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率
<b>売上高</b>		<b>24,436</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,953</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,516</b>	<b>14.4%</b>
<b>重点 事業</b>	オフィスサービス事業	4,156	17.0%	4,695	16.8%	538	13.0%
	3PL事業	2,723	11.1%	5,011	17.9%	2,287	84.0%
	ビルデリバリー事業	1,617	6.6%	1,610	5.8%	△7	△0.5%
<b>基幹事業</b>	基幹事業	13,697	56.1%	14,254	51.0%	557	4.1%
<b>独自 事業</b>	介護サービス事業	891	3.6%	938	3.4%	46	5.2%
	ITサービス事業	1,349	5.5%	1,443	5.2%	94	7.0%
<b>上記の内 M&amp;Aによる売上高</b>		<b>通期</b>	<b>構成比</b>	<b>通期</b>	<b>構成比</b>	<b>増減額</b>	<b>増減率</b>
<b>売上高</b>		<b>2,573</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,146</b>	<b>100.0%</b>	<b>572</b>	<b>22.2%</b>

【ご参考：報告セグメントと事業領域の関係図】

報告 セグメント 事業領域	報告セグメント				
	運送	倉庫	商品販売	ウエル フェ	その他
オフィスサービス	○				
3PL	○	○	○		
ビルデリバリー	○				
基幹	○	○	○		○
介護サービス				○	
IT	○	○	○		○
M & A	○	○			

※ 売上高が計上されている部分を「○」で表記しております。

- ※ 「M&Aによる売上高」は、現在、全て「基幹事業」に属しております。但し、「重点事業領域売上比率」を算定する際(P.15)には、重点事業売上高として扱っております。
- ※ イシカワコーポレーションは、決算月を12月から3月に変更したため、2022年3月期の当社グループ業績には、同社2022年1月～3月の変則決算業績が含まれております。

★ 純資産は9億50百万円増加し98億63百万円となり、自己資本比率は54.4%と財務安定水準を維持

⇒ 結果、財務の健全性を引き続き確保

貸借対照表及び経営指標

(単位：百万円)

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	増減額
<b>資産合計</b>	<b>13,908</b>	<b>14,396</b>	<b>15,338</b>	<b>15,811</b>	<b>18,140</b>	<b>2,329</b>
（流動資産）	6,915	6,931	7,771	8,052	9,147	1,094
（固定資産）	6,992	7,464	7,567	7,758	8,993	1,234
<b>負債合計</b>	<b>6,335</b>	<b>6,539</b>	<b>6,961</b>	<b>6,897</b>	<b>8,276</b>	<b>1,379</b>
（流動負債）	4,329	4,532	5,194	5,338	5,980	641
（固定負債）	2,005	2,007	1,767	1,559	2,296	737
<b>純資産合計</b>	<b>7,572</b>	<b>7,856</b>	<b>8,376</b>	<b>8,913</b>	<b>9,863</b>	<b>950</b>
<経営指標>						
自己資本比率	54.4%	54.6%	54.6%	56.4%	54.4%	△2.0%
ROE	6.8%	7.6%	8.5%	7.7%	11.9%	+4.2%
営業利益率	3.9%	3.8%	4.0%	4.2%	5.3%	+1.1%

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3
営業活動によるCF	857	955	1,297	508	1,484
投資活動によるCF	△631	△633	△260	△534	△1,001
財務活動によるCF	348	△609	△420	△101	△107
現金及び現金同等物の期末残高	2,864	2,577	3,194	3,068	3,443

営業CFは継続して  
プラスを維持

## ◆ 2023年3月期 連結業績予想



## ★売上高は[当初中期2023]目標300億円を15億円上回り、経常利益と共に過去最高を見込む

⇒ 売上高は、積極的な業容拡大の結果、増収見込み **(315億円/対前年同期比+12.7%)**

※ 主な増収要因⇒[TOPICS \(P.11参照\)](#) 関電資材調達3PL事業の通年化、[TOPICS \(P.11参照\)](#) 山神運輸工業のグループ会社化、[TOPICS \(P.12参照\)](#) 三郷ロジスティクスセンターの開設

⇒ 経常利益は、投資費用等の支出が予定されているものの、業容拡大と本社間接費の抑制を継続すること等により、増益見込み **(17.5億円/対前年同期比+4.7%)**

⇒ 22/3に特別利益が発生したことにより、22/3と23/3における[1株当たり当期純利益]が同等水準になる見込みである為、**23/3年間配当金についても、22/3と同水準の26円と予想**

【ご参考】

連結業績予想 (百万円)	2022年3月期 実績		2023年3月期 予想		前年同期比		2022年3月期 予想	
	通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	27,953	100.0%	31,500	100.0%	3,546	12.7%	26,500	100.0%
営業利益	1,475	5.3%	1,680	5.3%	204	13.9%	1,300	4.9%
経常利益	1,670	6.0%	1,750	5.6%	79	4.7%	1,450	5.5%
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	1,120	4.0%	1,110	3.5%	△10	△1.0%	910	3.4%
1株当たりの当期純利益(円)	85.92	—	84.35	—	—	—	69.50	—
配当予想(円)	2Q	期末	2Q	期末	2Q	期末	2Q	期末
年間配当金	0.00	26.00	0.00	26.00	0.00	0.00	0.00	22.00
配当性向	—	30.3%	—	30.8%	—	—	—	31.7%

## ◆ TOPICS

## 関西電力送配電様向け資材調達 3 P L 事業の開始（2021年10月）

- 2021年10月1日に、弊社関電ロジネット事業部において、新たに関西電力送配電様向けの資材調達 3 P L 事業を開始
- 資材調達 3 PL事業により、電力資材供給メーカー様、および工事会社様の資材納品・契約等手続きの効率化を実現

（イメージ）資材供給・納品、手続きの各社関係



## M&Aにより山神運輸工業株式会社（神奈川県横浜市）のグループ会社化（2022年2月）



物流からエンジニアリングまで

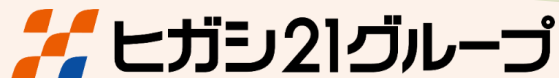
山神運輸工業株式会社

- ・売上高20億円・経常利益8,400万円（2021.6月期）
- ・一般貨物輸送・エンジニアリングが二大事業

**共通する“「鋼材メーカー向け物流」でのシナジー”に加えて、**

（山神運輸）ヒガシ21グループの物流設計力・営業網等の活用で、効率的な事業運営・事業拡大を実現

（ヒガシ21G）グループの重量物輸送力強化、海上コンテナ輸送やエンジニアリング事業等新たなノウハウを獲得



・「物流設計力」を強みに多様な物流サービス事業

## TOPICS 三郷ロジスティクスセンター

- ⇒ 首都圏での3PL事業の拡大と、成長が著しいEC関連業務の取り込みを狙う
- ⇒ 新拠点の開設で、首都圏の顧客獲得を目指す



開設時期	2022年4月
所在地	〒341-0059 埼玉県三郷市インター南3-4-1
構造・規模	倉庫部分5階建ての内4階部分
延べ床面積	約10,000㎡（約3,100坪）

## 北大阪ロジスティクスセンター

- ⇒ [抜群の立地条件 × 高い倉庫能力（倉庫内縦搬送力 + 接車バース34台） × 広域輸配送が可能 × 自家発電設備完備]
- ⇒ センターの高い機能性を活かし、3PL事業の中でも高付加価値サービスに取り組んでいく



開設時期	2023年4月（予定）
所在地	〒567-0853 大阪府茨木市宮島1-2-1
構造・規模	倉庫部分4階建ての内3階・4階部分
延べ床面積	約18,800㎡（約5,700坪）

## ◆ 中期経営計画2023の進捗状況



## ★ 当初中期計画を上回る業容拡大の結果、中期計画を上方修正

( [中期経営計画の見直しに関するお知らせ(2022/5/11付)] にてリリース済み)

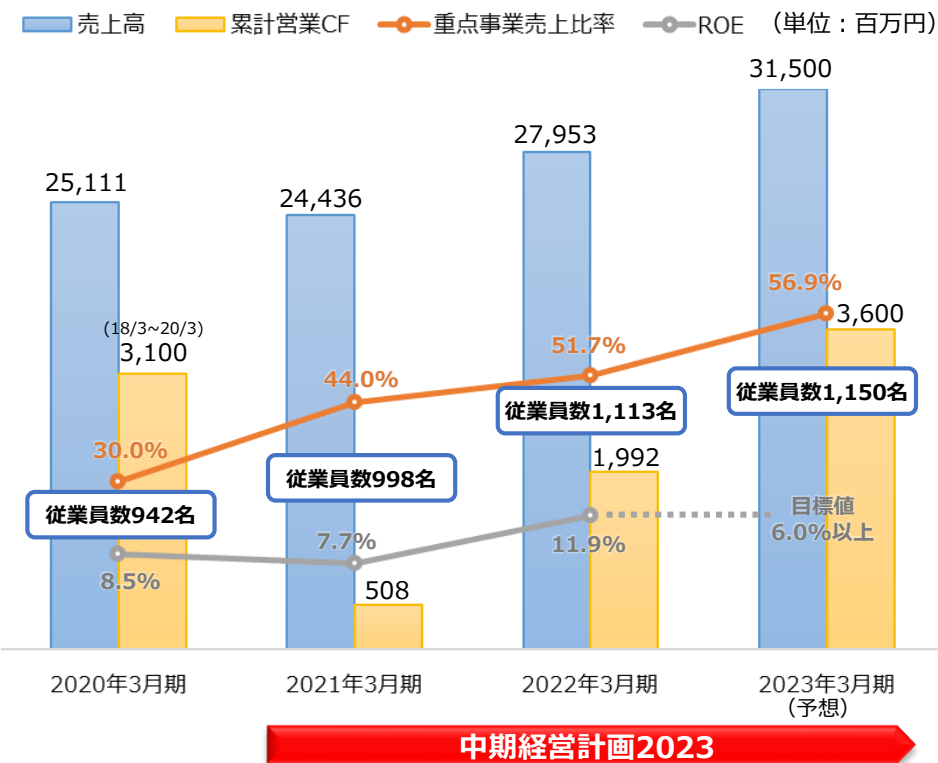
**売上高** : 当初300億円⇒修正後315億円 / **従業員数** : 当初1,100名⇒修正後1,150名  
**1株当たり配当金** : 当初20円⇒修正後26円

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 当初中期計画	2023年3月期 修正中期計画
売上高	244億円	279億円	300億円	315億円
重点事業領域比率	44.0%	51.7%	45%以上	56.9%
3年累計営業CF※	—※	—※	36億円	36億円
ROE	7.7%	11.9%	6%以上	6%以上
従業員数	998名	1,113名	1,100名	1,150名
1株当たり配当金	18円00銭	26円00銭	20円00銭	26円00銭

※ 3年累計営業CFは、2021年3月期～2023年3月期の3年累計営業CFとなるため、2021年3月期、2022年3月期の記載はございません。

- 2021年3月期：コロナ感染症拡大の影響を受け、売上高244億円（対前年比▲2.7%）に留まる
- 2022年3月期：e-コマース向け大型物流センターの本格稼働、関電資材調達3PL事業開始、事務所移転需要の増加によるオフィスサービス事業の増収等により、売上高279億円（対前年比+14.4%）となる
- 2023年3月期：山神運輸工業株式会社のグループ会社化、三郷ロジネットセンターの開設、首都圏におけるオフィスサービス事業の更なる業容拡大等により、売上高315億円（対前年比+12.7%）を見込む

## 経営目標の推移



## （ご参考）中期経営計画2023の経営目標

### ①売上目標

2020/3  
251億円

※ コロナ影響により減収

2021/3  
244億円

中期2023  
2023/3  
300億円  
↓  
315億円

VISION  
2030  
500億円

### ②その他の経営財務目標

①重点事業領域  
売上比率45%

②3年累計  
営業CF36億円

③ROE 6%以上

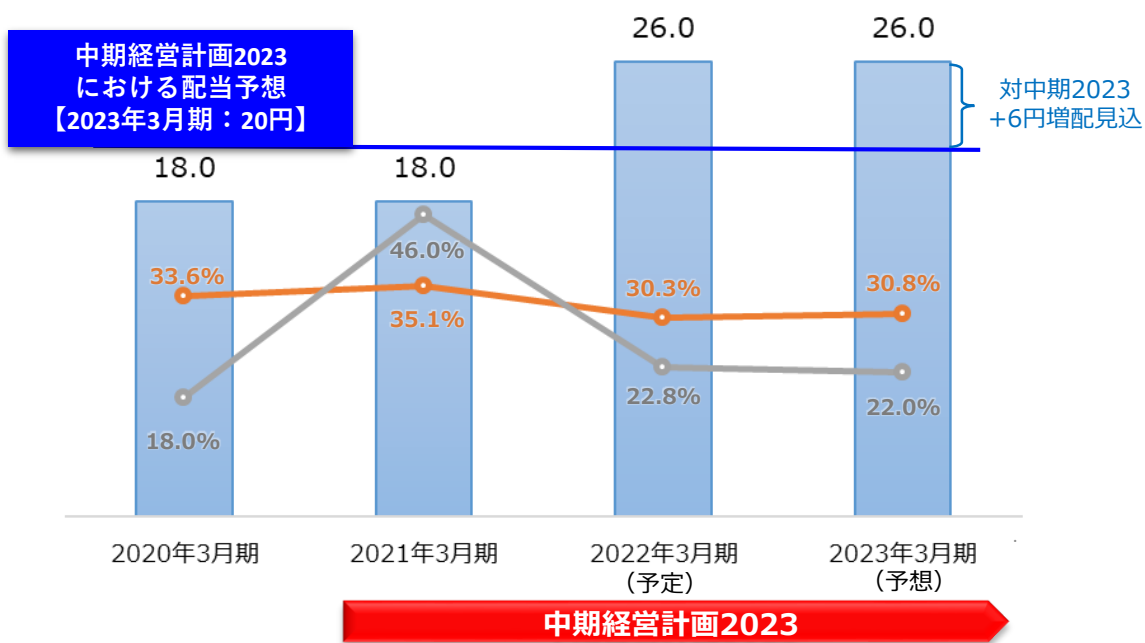
- 中期計画で掲げている[配当性向目標30%以上]の水準で株主還元を実施
- 当初中期計画を上回る業容拡大により、株主還元も当初目標以上の水準となる

<2023年3月期における年間配当金：当初中期計画20円⇒修正中期計画26円>

※ 2021年3月期は、コロナ感染症拡大・特別損失の影響の影響で減益となったが、18円を維持

## 資本政策の推移

■ 1株当たり配当金    ● 配当性向    ● 営業CFに対する配当金比率



### (ご参考) 中期経営計画2023の資本政策

#### ～株主還元の方針～

長期的発展の礎となる財務体質の強化と

安定配当の維持を基本としつつ、

成長により獲得した利益を

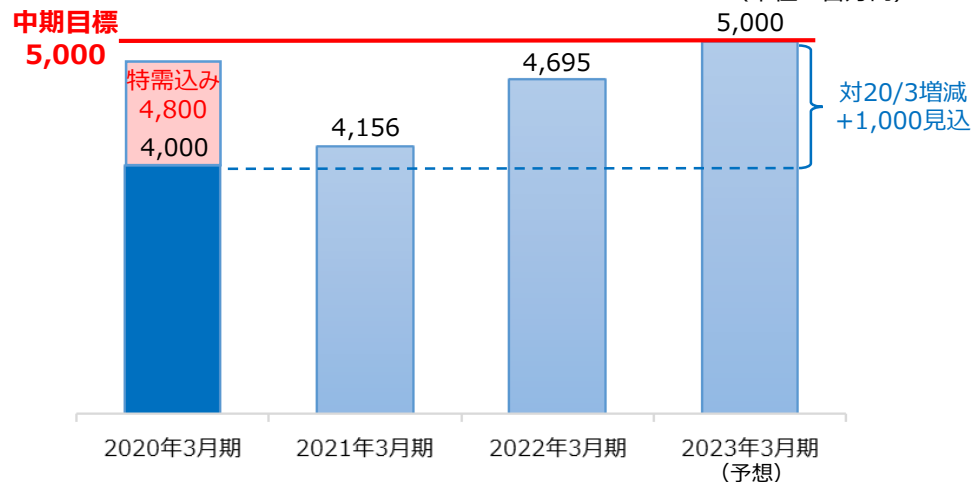
**連結配当性向30%以上**を目安に還元する。



## オフィスサービス事業

- 主に首都圏での業容拡大により、中期目標**達成**見込み

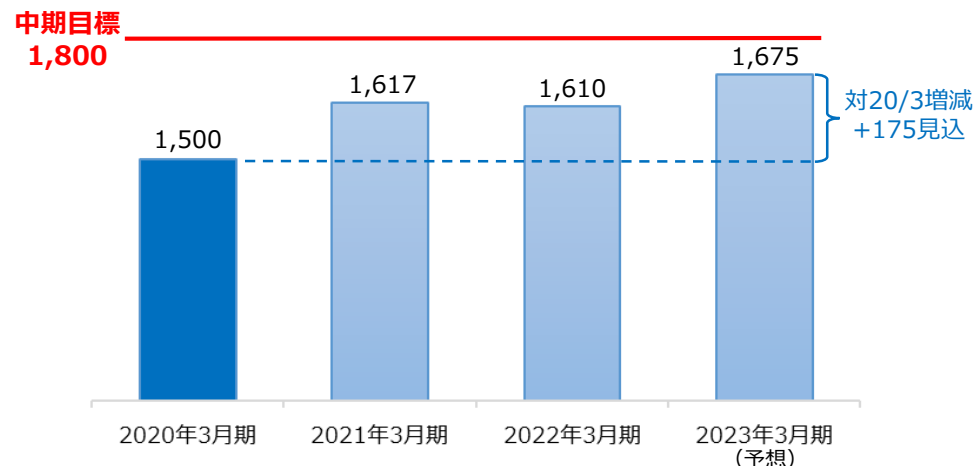
(単位：百万円)



## ビルデリバリー事業

- コロナ禍の人流抑制による影響を強く受け、中期目標の達成には、更なる進展が必要

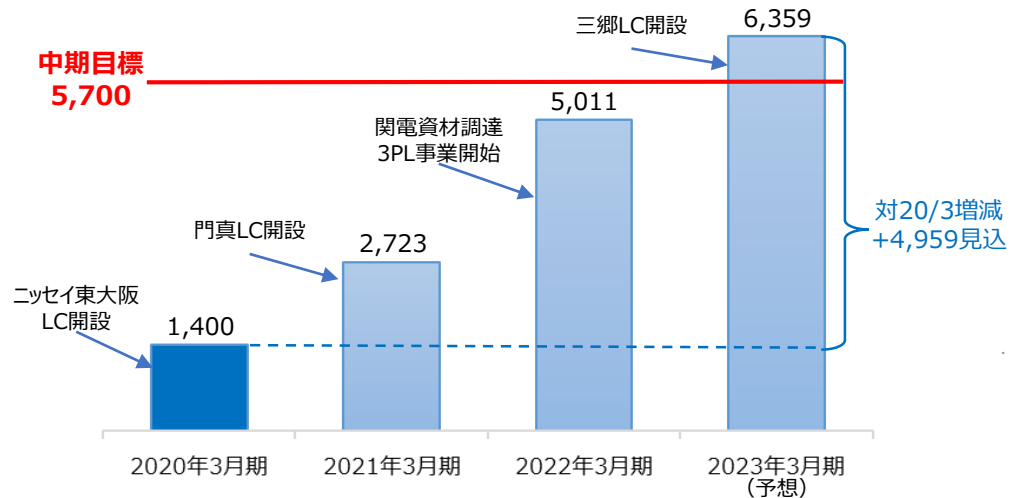
(単位：百万円)



## 3PL事業

- 積極的な業容拡大により、中期目標**達成**見込み

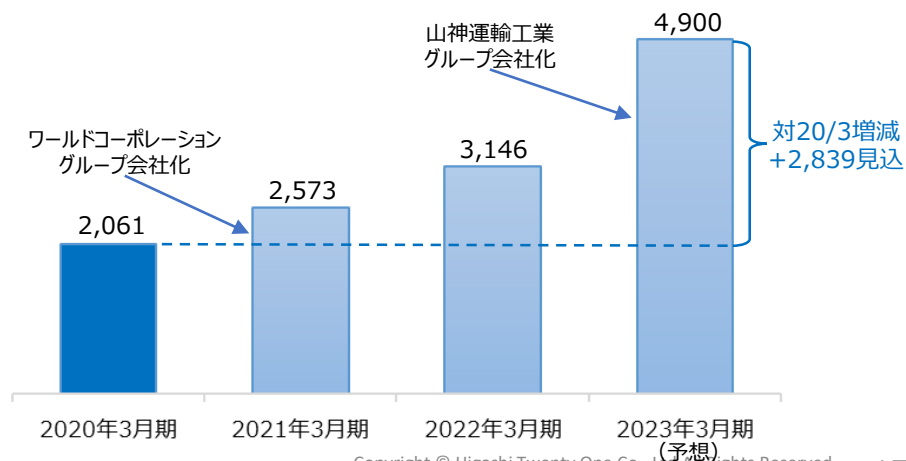
(単位：百万円)



## M&A

- グループの総合力を高めるべくM&A戦略を加速

(単位：百万円)





(単位：百万円)

指標	決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
売上高		25,111	24,436	27,953	31,500
経常利益		1,055	1,287	1,670	1,750
親会社株主に帰属する当期純利益		691	666	1,120	1,110
純資産		8,376	8,913	9,863	—
総資産		15,338	15,811	18,140	—
1株当たり当期純利益 (円)		53.62	51.33	85.92	84.35
1株当たり純資産 (円)		648.20	685.17	755.44	—
自己資本比率 (%)		54.6	56.4	54.4	—
ROE (%)		8.5	7.7	11.9	6%以上
営業活動によるCF		1,297	508	1,484	—
投資活動によるCF		△ 260	△ 534	△ 1,001	—
財務活動によるCF		△ 420	△ 101	△ 107	—
最高株価 (円)		625	703	803	—
最低株価 (円)		408	410	575	—



## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>



その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

